

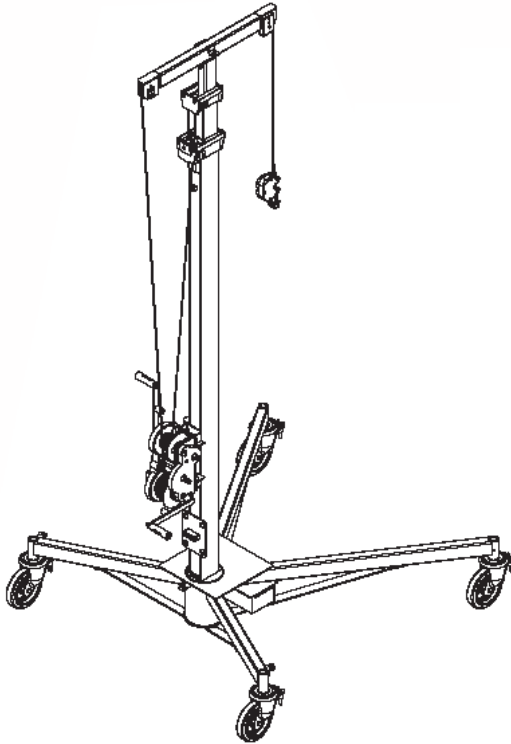
Asada

環境を守る親切ツール

ワイヤホイス

ホイス ト R 4 6 0
ホイス ト R 5 5 0
ホイス ト R 7 6 0

取扱説明書



【ご使用前に必ず本書をお読みください。】

IM1302

ホイストRシリーズ

安全にご使用いただくために

このたびは、ホイストRシリーズをお買い上げいただきましてありがとうございます。

この取扱説明書は、お使いになる方に必ずお渡しください。

ご使用前に必ず本書を最後までよく読み、確実に理解してください。

適切な取扱いで本機の性能を十分発揮させ、安全な作業をしてください。

本書は、お使いになる方がいつでも取り出せるところに大切に保管してください。

本機を用途以外の目的で使わないでください。

商品が届きましたら、ただちに次の項目を確認してください。


- ・ ご注文の商品の仕様と違いはないか。
- ・ 輸送中の事故等で破損、変形していないか。
- ・ 付属品等に不足はないか。


万一不具合が発見された場合は、至急お買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。


(本書記載内容は、改良のため予告なしに変更することがあります。)

警告表示の分類

本書および本機に使用している警告表示は、次の3つのレベルに分類されます。

 **危険** 本機に接触または接近する使用者・第三者等が、その取り扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、死亡または重傷を招く差し迫った危険な状態。

 **警告** 本機に接触または接近する使用者・第三者等が、その取り扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、死亡または重傷を招く可能性がある危険な状態。

 **注意** 本機に接触または接近する使用者・第三者等が、その取り扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、軽度または中程度の傷害を招く可能性がある危険な状態。または、本機に損傷をもたらす状態。



分解禁止



作業環境



取扱説明書



保護具着用



その他

目次

| | | | |
|-----------------|----|-----------------|----|
| 安全上のご注意 | 2 | ハンドルの収納 | 16 |
| 本機特有の注意事項 | 4 | シャーピン | 17 |
| 製品の構成 | 5 | ガイドライン | 18 |
| 各部の名称 | 5 | 別販売品 | 19 |
| 仕様 | 6 | Tヘッド延長バー | 19 |
| 標準付属品 | 6 | 保守・点検 | 20 |
| 組立 | 8 | 使用前 | 20 |
| 使用方法 | 9 | 6ヶ月点検 | 21 |
| 移動(荷物なし) | 9 | 日常点検と清掃 | 22 |
| 移動(荷物あり) | 10 | ウインチ | 23 |
| マストの上昇 | 11 | ワイヤロープの交換 | 24 |
| 吊上げ用ワイヤを荷物に近づける | 12 | 吊上げ用部品 | 24 |
| 荷物の上昇 | 13 | 第三マスト | 25 |
| 荷物の下降 | 14 | 第二マスト | 26 |
| マストの下降 | 15 | 修理・サービスを依頼される前に | 27 |
| マストの分解 | 15 | ウインチ | 28 |
| キャストブレーキ | 16 | | |

安全上のご注意

ここでは、本機を使用するにあたり、一般的な注意事項を示します。
作業要所での詳しい注意事項は、この後の各章で記載しています。

⚠ 危険



ご使用前に各ワイヤロープを調べてください。
10%以上素線が切断されているもの、直径が7%以上減少しているもの、
キンクしたもの、著しく形くずれ又は腐食がある場合は使用しないでくだ
さい。



改造は絶対行わないでください。
本機を使用用途以外の用途には使用しないでください。
本機は、各種配管を吊り下げるホイストになります。

⚠ 警告



安全のため、定格荷重を越える荷物は吊らないでください。
定格荷重以上での使用は、故障の原因になります。

吊上げる前に荷物の荷重バランスを確認します。
荷物専用です。荷物の昇降以外に使用しないでください。
吊った荷物の下に入らないでください。
荷物の動く範囲に人がいる場合は、本機を運転しないでください。
本機を伸ばした状態または荷物を吊ったままの状態で離れないでください。
本機を移動する場合は、必ず荷物が降下された状態で行ないます。
荷物を揺らすような運転はしないでください。
吊下げ中の荷物を引いたり、引き上げたりしないでください。
地球吊りはしないでください。
本機1台分の最大荷重を越える荷物を、2台のホイストを使用して持ち上げ
ないでください。
マストが上昇中は225kg以上の荷物を吊上げないでください。

使用前にすべてのブレーキの動作を確認し、すべてのブレーキが確実に動作
しない時は運転しないでください。
上昇・下降の作業時には周囲に人がいなことを確認してから作業します。

強風時など悪天候の場合は、屋外で使用しないでください。
突風、雨中や嵐の中では作業しないでください。

頭上に電線や障害物が無い場所で使用してください。
本機に登ったり、ハシゴなどを掛けてマストの片側に負荷をかけないでくだ
さい。

自由落下レバーを使用して荷物を下げないでください。

ホイストRシリーズ

▲ 警告

6. 1 m以上の作業は、必ずガイラインを取り付けて本機を使用してください。
本体を前後ろ反対に取り付けて、短い脚側で荷物の上げ下げしないでください。



修理技術者以外の方は、絶対に分解しないでください。
また、改造は絶対にしないでください。
異常動作してケガをしたり、故障の原因となります。



作業関係者以外は、作業場所に近づけないでください。
特にお子様には十分にご注意ください。



雨中や本機に水がかかる場所では使用しないでください。

本機使用の前に、すべての部品をチェックして、不足した部品・痛んだ部品がないか、確認してください。
不具合があった場合は、直ちに使用を中止し、修理または交換してください。

▲ 注意



水平な地面に本機を設置してください。
不安定な場所は、荷物の落下や転倒により故障やケガをする恐れがあります。

各マストに強い衝撃を与えないでください。またマストを無理に引っ張らないでください。

昇降時は、キャストのブレーキをかけてください。

本機をご使用いただく前に2～3回空運転を行ない各部に不具合が無いか確認します。特にしばらくご使用にならなかったときは必ず実行します。
弊社純正部品を使用してください。

適切な服装で作業をしてください。操作時はヘルメット、安全靴、グローブを着用してください。

ネクタイや袖口の開いた服、編み袋、ダブダブの衣服やネックレスなどの装身具は着用しないでください。

能力を超えた作業及び、指定以外の使用はしないでください。

ケガをしたり本機が破損する恐れがあります。

作業場所、作業台は常に整理整頓を心がけてください。

安全面だけでなく、作業の能力アップにもつながります。

不安定な場所や無理な姿勢で作業しないでください。

転倒してケガをする恐れがあります。

本機特有の注意事項

▲ 重要



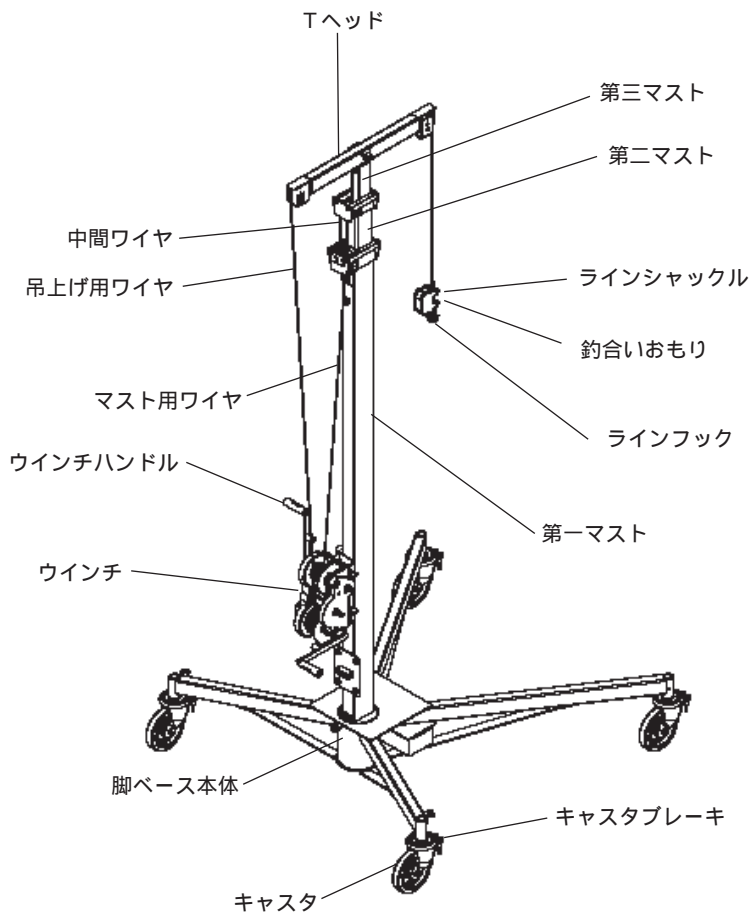
本機は、手動の吊上げリフトになります。
定期検査は、クレーンの定期自主検査に沿って検査を行ってください。

ホイストRシリーズ

製品の構成

各部の名称

ラベルがはがれたり、汚れて見づらくなった場合には、弊社へご請求ください。
ラベルは必ず同じ場所に貼付してください。

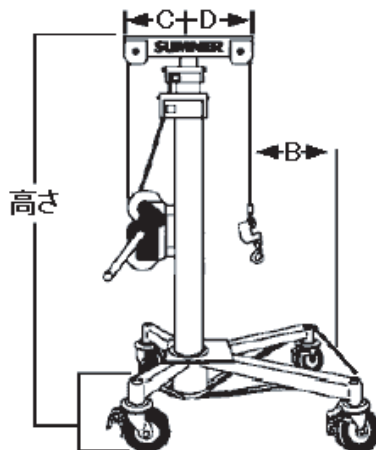


HOIST R SERIES

仕様

| 品名 | ホイストR460 | ホイストR550 | ホイストR760 |
|-------|----------|-----------|-----------|
| コード | S780300 | S780302 | S780303 |
| 最低高さ | 200cm | 320cm | 302cm |
| 最高高さ | 460cm | 550cm | 760cm |
| 最大荷重 | 680kg | 680kg | 680kg |
| B寸法 | 50cm | 63cm | 75cm |
| C・D寸法 | 30cm | 36cm | 44cm |
| ベース寸法 | 80X100cm | 125X125cm | 150X150cm |
| 質量 | 150kg | 183kg | 224kg |

: ベースのキャスタ軸中心間距離寸法になります。



標準付属品

| 品名 | ホイストR460 | ホイストR550 | ホイストR760 |
|--------|----------|----------|----------|
| マスト組 | | | |
| 脚ベース本体 | | | |
| キャスタ | | | |
| ウインチ組 | | | |
| 取扱説明書 | | | |

ホイストRシリーズ

別販売品

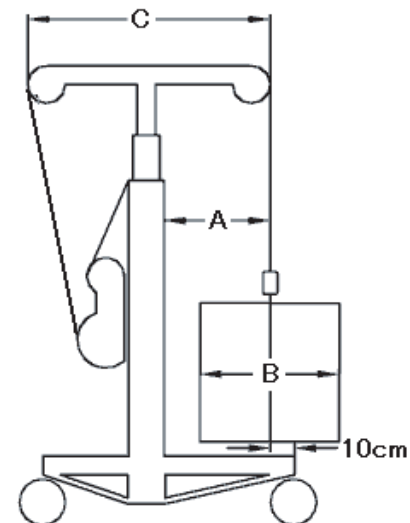
| 品名 | コード | 最大荷重 | 用途 |
|----------------|---------|-------|---------|
| Tヘッド延長バー R460用 | S780010 | 450kg | R460延長用 |
| Tヘッド延長バー R550用 | S780011 | 450kg | R550延長用 |
| Tヘッド延長バー R760用 | S780012 | 450kg | R760延長用 |



製品の構成

Tヘッド延長バー仕様

| 品名 | ホイストR460用 | ホイストR550用 | ホイストR760用 |
|-----|-----------|-----------|-----------|
| A寸法 | 55cm | 73cm | 93cm |
| B寸法 | 108cm | 145cm | 183cm |
| C寸法 | 120cm | 158cm | 173cm |
| 質量 | 9.5kg | 11.1kg | 15.0kg |



組立

組立

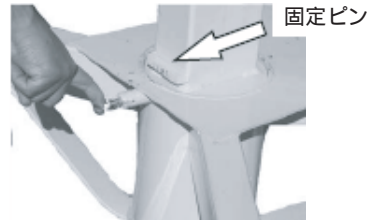
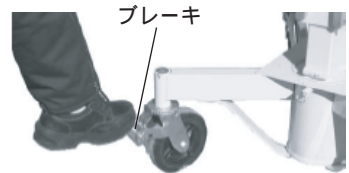
水平な場所に本機を設置します。

脚ベース本体を上下逆さにします。
脚ベース本体の4箇所の穴にキャストを取り付けます。
同梱されている六角穴付止ネジを脚ベース本体の4箇所の穴側面に取り付け、六角レンチで締め、キャストを固定します。
ネジでキャストの軸が締められていることを確認します。

脚ベース本体を元に戻し、キャストのブレーキをロックします。

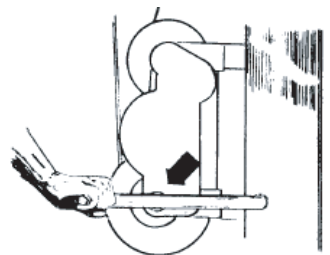
マスト組を脚ベース組に、ウインチを脚ベースの背面部のソケットに組み付ける。
短い方の脚がついた方が、脚ベースの背面になります。

脚ベース組とマスト組の固定ピンがかみ合っていることを確認する。



ウインチについている低い方のシャフトを反時計回りに回して吊上げ用ワイヤロープの張りを緩める。
U字型ピンとU字型金具を取り外す。
吊上げ用ワイヤロープを下げて、作業者がワイヤロープの先に届く様になります。

釣り合いおもりとラインシャックルを直接取り付け、ワイヤロープの端を輪にします。



ホイスト R シリーズ

使用方法

移動（荷物なし）

▲ 警告

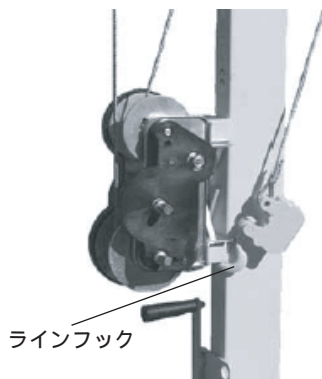


作業者は機器を操作する前に必ず安全上の注意を十分に読んでください。
本機が破損したり、ケガを起こす恐れがあります。

機械を動かす前に、常にマスト組を可能な限り下に下げて移動します。

機械を動かす前にケーブルがゆれたり、作業者や近くにいる人にぶつかったりするのを防ぐために、ラインフックをウインチの取付金具にかけます。

ウインチのハンドルをウインチの両側にとりつけ、機器を動かすときにハンドルレバーとなるようにします。

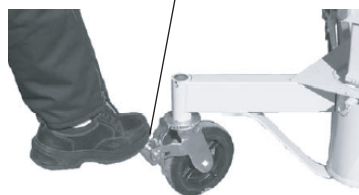


ラインフック

キャスタブレーキ

キャスタブレーキを解きます。

ウインチハンドルを握り、S字で前に進めてキャスタをそろえて移動します。



▲ 警告



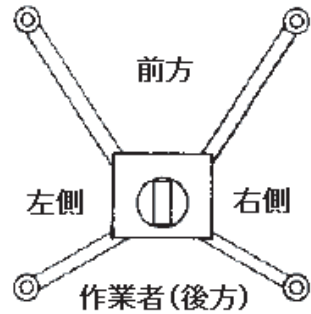
転倒や作業者のケガを避けるため、ホイストは平坦な場所でのみ使用します。

移動（荷物あり）

本機で荷物を運ぶ時は、本機を安全に移動するために荷物は、脚ベース本体に載せます。

荷物を載せた本機は、可能な限り前進のみで移動します。

前章「移動（荷物なし）」の ~ を繰り返します。



ホイストRシリーズ

マストの上昇

▲ 警告



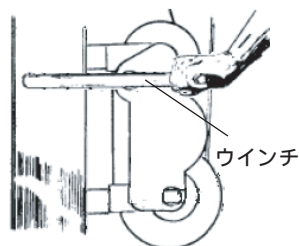
マストを6.1 m以上上げるときは、ガイラインを使用しなければなりません。これを怠ると本機が転倒・破損したり、ケガを起こす恐れがあります。

▲ 注意



マストが上昇中は、22.5 kg以上の荷物を上げないでください。

左側のウインチのハンドルを反時計周りに回すとマストが上昇します。



マスト上昇中はワイヤロープの先の輪、釣り合い荷重、ラインシャックルが決してTヘッドに触れないようにします。



ひびがはいったり、痛んだままTヘッドを使用し続けると、Tヘッドが曲がる危険があります。

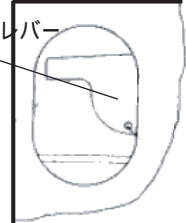


ホイストR760にて、ガイラインを使用する基準は、マストの中心に赤いラインが現れた場合は、必ずガイラインを使用します。

吊上げ用ワイヤを荷物に近づける

マストが上昇すると、吊上げ用ワイヤロープも上昇します。
この場合は、自由落下レバーを押し上げることにより吊上げ用ワイヤロープが下がります。
自由落下レバーはウインチの左側にあります。

自由落下レバー



ケーブルが自由落下するように押し上げて保持する。

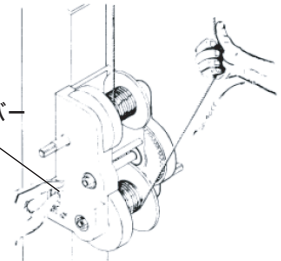
警告



荷重が吊り下げられている時に、自由落下レバーを使用しないでください。
荷物が落下して荷物の破損、ケガをする恐れがあります。

自由落下レバーを押している間、ウインチの低い方のスプールを図の様に引いて、荷物を取り付けるのに、安全で十分な長さにします。

自由落下レバー



荷物を安全に持ち上げるために、痛んだ部品は使用しないでください。

警告



マストを上昇する時は、装具とバランスを確認するために、常に少しずつ荷物を上げてください。
荷物が落下して荷物の破損、ケガをする恐れがあります。

安定ラインは長いものや、扱いにくいものを操作するために行ないます。

吊下げた荷物を完全に制御するために、必要なだけ安全ラインを使用してください。

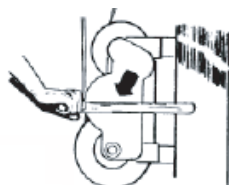


ホイストRシリーズ

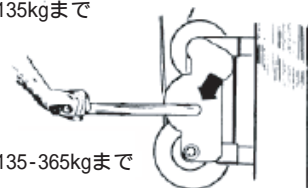
荷物の上昇

適切なウインチシャフトとウインチハンドルソケットを右の重量表に従って選択します。

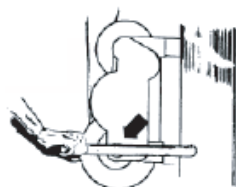
ウインチハンドルを時計回りに回して荷物を上げる。



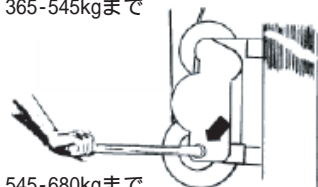
135kgまで



135-365kgまで



365-545kgまで



545-680kgまで

警告

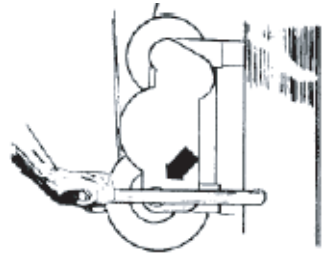


作業中は荷物の下に入らないでください。
荷物が落下したり、ケガをする恐れがあります。

荷物の下降

右側のウインチの低い方のシャフトを使用してのみ、荷物を下げることができます。

ウインチハンドルにあるソケットを低い方のシャフトに挿入し、ハンドルを反時計回りに回して、荷物を下げます。



⚠ 注意



荷重が吊り下げられている時は、自由落下レバーを使用しない。
荷物が急激に落下して荷物の破損、ケガをする恐れがあります。

ホイスト R シリーズ

マストの下降

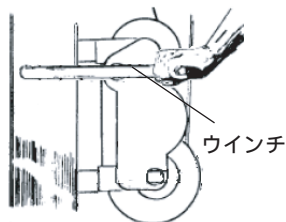
▲ 注意



マストは荷物のない状態で下げます。
荷物を吊上げてマストを下げる場合は、225kg以下にします。
本機が破損したり、ケガを起こす恐れがあります。

ウインチハンドルをウインチの左側にある低い方のシャフトに取り付けます。

ハンドルを時計回りに回してマストを下げます。



マストの分解

▲ 注意



マストを取り外す時は必ずキャスタブレイキをかけます。

脚ベース本体の固定ピンを、リングを引き、90°回して外します。
リングが脚ベース本体ハウジングのスロットにはまっていないか確認してください。

プレイタプの下にボールを差し込んで、リングが脚ベース本体の一番上にくるまでマストを土台から上げます。

脚ベース本体からマストを外します。



キャストブレーキ

ブレーキレバーを押してキャストのブレーキをかけます。

ブレーキの解除は、ブレーキレバーを上げます。



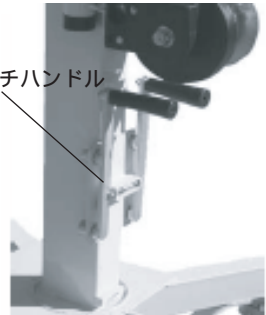
ハンドルの収納

ウインチハンドルを使用しない時は、本機のハンドルを収納スペースに収納します。

ウインチハンドルを収納するために、収納プレートにある穴にソケット入れを並べます。

バネつきのピンにつくまで、ウインチハンドルをスライドさせます。

ウインチハンドル



バネつきのピンを押して、ウインチハンドルをスライドし続けてください。

ウインチハンドルを取り外す時は、～を逆の順番で外します。

バネつきピン



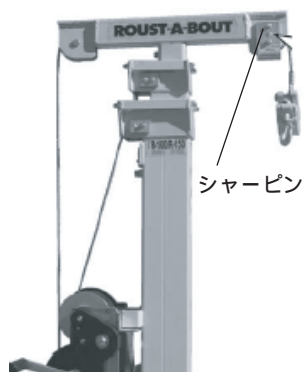
ホイストRシリーズ

シャーピン

すべてのホイストRシリーズはシャーピンという安全ピンがついています。

このピンはTヘッドの滑車の前についています。ピンは超荷重の際にリフトを保護するためにあります。

スペアのシャーピンはウインチ組の下にあります。



HOIST R SERIES

ガイライン

ホイストR760を使用して、6.1m以上の高さに荷物を上げようとする時、赤い線が、センターマストに現れます。これはガイラインを使用しなさいという警告になります。

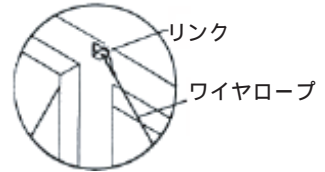
マストを上げる前に、第三マストに二つのワイヤロープを取り付けます。

背面の脚に二つの1/4"チェーンを取り付けます。

希望の作業高さから約25 30cm低く、マストを上げます。

チェーンをワイヤロープにつけ、ガイラインが均等な長さであることを確認します。

ガイラインがぴんと張るまでマストを上げます。



第三マスト

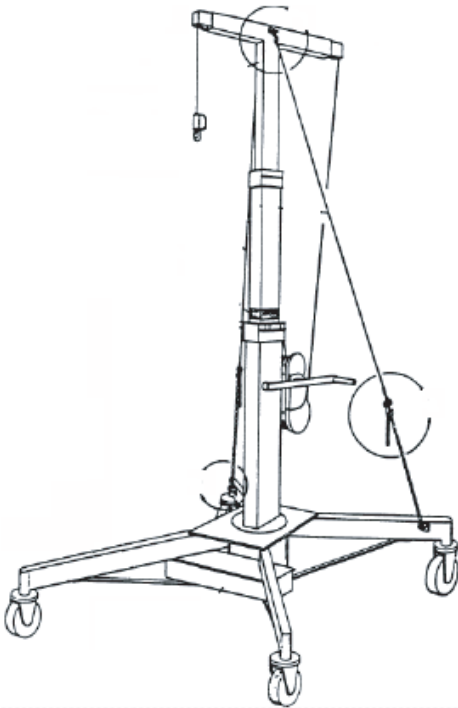
リンクチェーン



脚ベース本体



ワイヤ接続ヶ所



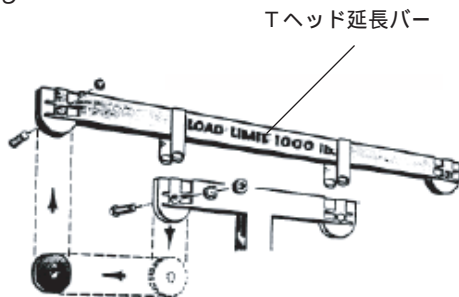
ホイストRシリーズ

別販売品

Tヘッド延長バー

Tヘッド延長バーを使用することにより幅の広い荷物が取り扱えるようになります。

Tヘッド延長バーを使用した場合の各部の寸法は、7ページの「Tヘッド延長バー仕様」表を参照します。



警告



荷重の重心が前輪の内側10cmの位置になります。
このTヘッド延長バーはリフトの安全性を減少させるので、幅の広い荷物を扱う時のみに使用します。

保守・点検

以下の箇所を定期的に点検・清掃し、適時修正または交換を行ってください

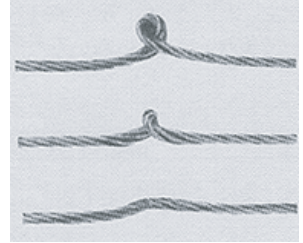
使用前

ワイヤロープに

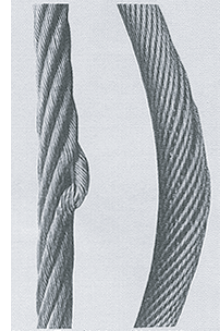
- ・10%以上素線が切断されているもの
- ・直径が7%以上減少しているもの
- ・キンクしたもの
- ・著しく形くずれ又は腐食

がないか検査します。

もし、ワイヤロープに異常があった場合は、ワイヤロープを取り替えるまでリフトを使用しないでください。



キンク



型くずれ

ウインチが自由に操作でき、ケーブルがウインチドラムに絡まっていないか確認します。

マスト、脚、脚ベース本体に曲がりがないか確認します。

キャスタが自由に動くか確認します。

ホイストRシリーズ

6ヶ月点検

①ケーブルにキンク（ねじれ）やほつれがないか検査する。

②ウインチが自由に操作でき、部品が傷ついたり、無くなっていたりしていないか確認する。

日常点検と清掃

両側のウインチハンドルに磨耗や曲がりがないか確認します。

すべてのボルトとナットが締められているか確認します。

脚、留め具、土台にへこみやキズがないか確認します。

プーリのハウジングにプーリが回転するのを妨げるキズ（へこみ）がないか確認する。

すべてのラインがすべてのプーリにおさまり、障害なくプーリが回ることを確認する。

すべてのローラが自由に回るか確認する。

マストが自由に、スムーズに動くか確認する。ワイヤロープのスライド部に、ゴミや錆がないか確認し、スライド部にシリコン潤滑剤を軽くスプレーする。

キャストホイールが自由に回転し、損傷がないことを確認する。

全体の汚れはやわらかいウエスでふき取り、汚れがひどいときは、水で浸した布をよく絞ってから汚れをふき取ってください。
その後、乾いた布で拭いてください。

使用後は全体を清掃してください。

警告



改造は絶対しないでください。
ホイストの改造は、ケガや死につながります。

注意



磨耗や損傷したものはサムナー（アサダ）の純正部品と交換してください。
本機が破損したり、ケガを起こす恐れがあります。

ホイスト R シリーズ

ウインチ

下記のウインチ組の図面を参照にします。

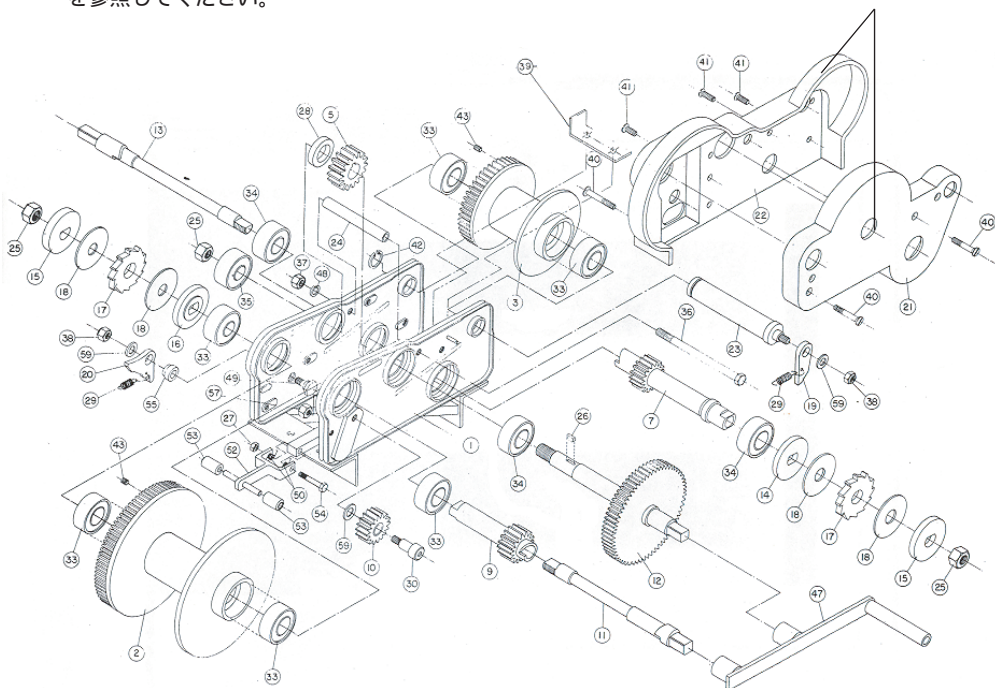
左右のウインチカバーがウインチについているか確認します。

ラチェットドッグやブレーキラチェットが磨耗していないか確認する。もし磨耗があったら、部品を交換します。

ギアの歯が磨耗していないか確認する。目視で磨耗がなければ、ギヤにモータオイル（15W30程度）を塗布します。

適切なブレーキ調節については、28ページ、「修理・サービスを依頼される前に」の「ウインチ」を参照してください。

ウインチカバー



ワイヤロープ交換

吊上げ用部品

マストを支持具にねかせ、ウインチを上向きにします。

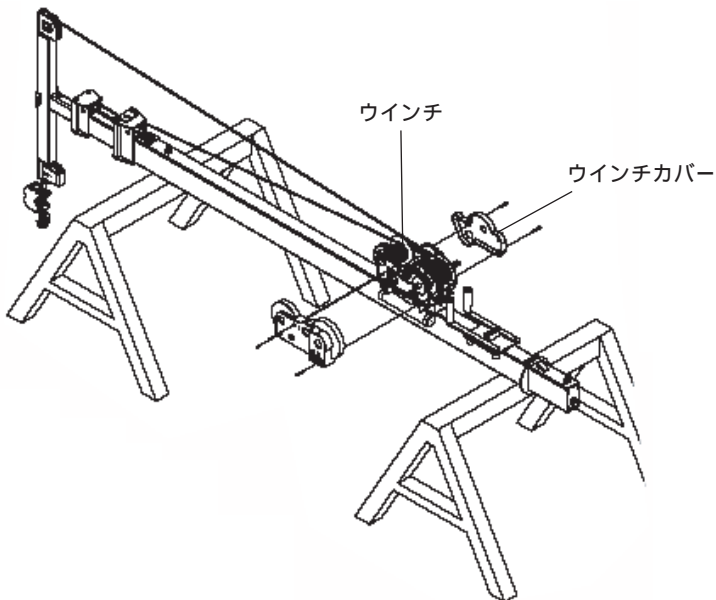
左右のウインチカバーを外す。

ロードラチェットドッグを外し、ワイヤロープを大きなほうのドラムから引いて外す

ドラムのセットねじを緩め、キーパーからワイヤロープを外す。

Tヘッドの前を通して、ロードラインを引きます。

新しいラインをいれるため、逆向きにします。



ホイストRシリーズ

第三マスト

マストを支持具にねかせ、ウインチを上向きにします。

左右のウインチカバーを外します。

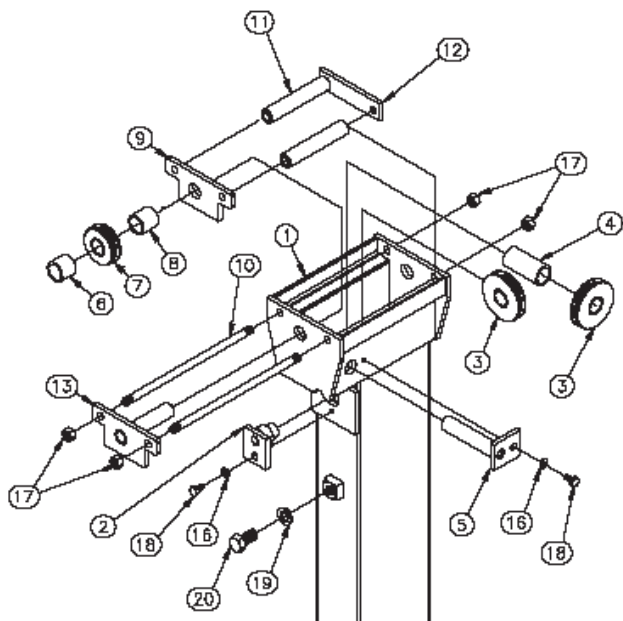
- 、 、 、 の順に部品を外します。
- 、 、 、 の順に部品を外します。
- 、 、 、 の順に部品を外します。
- 、 、 、 の順に部品を外します。

第二マストを外します。

キーパーワイヤと古い持ち上げラインを外す。ロープの向きを覚えておきます。

新しいラインを取り付ける。

からへ順番に組み立てます。



第二マスト

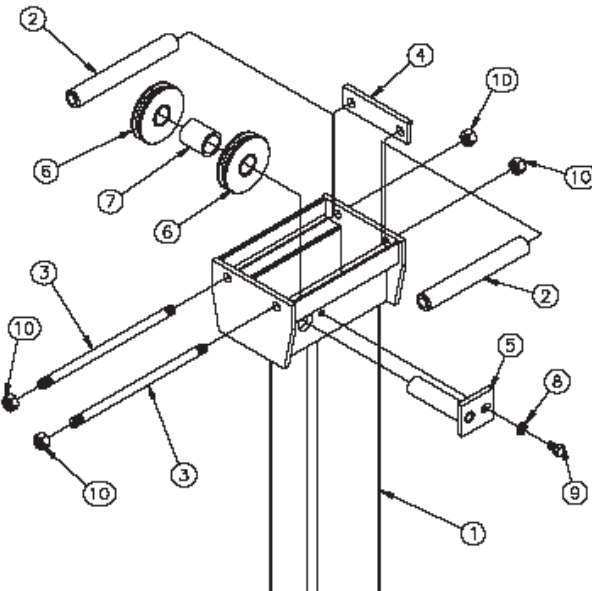
、 、 、 の順に部品を外します。

、 、 、 の順に部品を外します。

第三マストを取り外します。

キーパーワイヤと均等ワイヤを外します。
ロープの向きを覚えて置きます。

新しいラインを取り付けるます。
から順番に へ組み立てます。



ホイスTRシリーズ

修理・サービスを依頼される前に

修理・サービスを依頼される前に下記の故障診断にしたがって点検してください。
それでも解決されない場合は、弊社またはお買い求めの販売店にご相談ください。

| 現象 | 原因 | 対策 |
|-----------------|------------------------------|--|
| 第二・第三マストが上がらない。 | 225kg以上の物をマストであげようとしている。 | 荷物を取り外し、希望の高さまでマストを上げてから、荷物を上げる。 |
| | マストのローラが回らない。ゴミや障害物がないか確認する。 | ローラシャフトを油性洗剤やブレーキクリーナできれいにするか、シリコン潤滑剤で潤滑させる。 |
| | ケーブルプーリホイールが回らない。 | プーリホイールにキズがあったら、ホイールは滑らかに回転しないので、ホイールを交換する。 |
| | ケーブルにキズがないか確認する。 | ケーブルがねじれたり、磨耗したり、ほつれたりしていたら、ケーブルを交換する。 |
| | マストにキズがないか確認する。 | キズのついたマストを交換する。 |

| 現象 | 原因 | 対策 |
|-----------------|----------------------------|--|
| ホイスTが荷物を持ち上げない。 | ウインチブレーキに調節が必要。 | 次ページ参照。 |
| | ブレーキパッドが磨耗している。 | ブレーキパッドを交換する。 |
| | ラチェットドックやブレーキラチェットが磨耗している。 | ラチェットドックやブレーキラチェットを交換する。 |
| | ラチェットスプリングが壊れているか、磨耗している。 | ケーブルがねじれたり、磨耗したり、ほつれたりしていたら、ケーブルを交換する。 |

ウインチ

▲ 重要

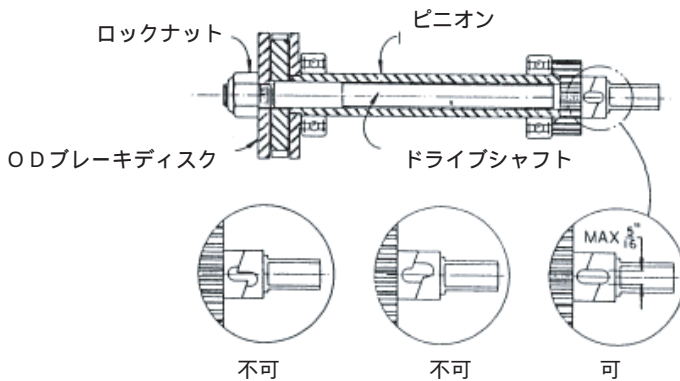


下記の情報はロードドラムとホイストドライブシャフト両方にかかります。

CS2000ウインチの適切な調節を行なうため、ピニオンとドライブシャフトはロックナットがODブレーキディスクに対して締められた時に、下記のように見られる位置になければなりません。

ロックナットは20.3N-mのトルクで締めます。

適切な位置合わせはリフトに荷重がかけられたときのみ目視できます。



ホイストRシリーズ

HOIST R SERIES

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。
お問合せや部品のご用命の際にお役に立ちます。

製造番号 :
購入年月日 : 年 月 日
お買い求めの販売店

Asada

アサダ株式会社

本 社 / 名古屋市北区上飯田西町 3-60
TEL (052) 911-7165 E-mail: sales@asada.co.jp

支 店 / 東京・名古屋・大阪
営 業 所 / 札幌・仙台・さいたま・横浜・広島・福岡

海外事業所

アサダ・タイランド社 (バンコク)
台湾浅田股份有限公司 (台北)
アサダ・アロンコ マシナリー社 (クアラルンプール)
アサダ・ベトナム社 (ホーチミン)
上海浅田進出口有限公司 (上海)
アサダトレーディング USA (カリフォルニア州)

工場

犬山工場 (愛知県・犬山市)
第一精工株式会社 (松山市)
アサダ・マシナリー社 (バンコク)

www.asada.co.jp

お客様相談センター



0120-114510

〈受付時間〉 AM9:00~12:00 PM13:00~17:00 (土・日・祝日は除く)